

いが、交付団体単独での減税は一般的には理解されにくく、本市は起債残高減少の取り組みもしているため、減税を実施する考えはない。

老朽施設(図書館、体育館)の建替計画は

問 老朽施設の建て替え計画について伺う。

答 小中学校の耐震工事を最優先で実施しており、24年度には一応の目処がつく。その他の公共施設の建て替えも危険度や優先順位をつけながら検討していく



市民体育センター

段階に入ったと考えている。

大竹利信(公明党)

子宮頸がん等のワクチン接種の促進は

問 国で成立した補正予算に子宮頸がん予防・ヒブ・小児用肺炎球菌の3ワクチンの接種の促進が盛り込まれている。多くの自治体が接種費用への公費助成を予定していると聞いているが、市の対応を伺う。

答 県内の他市町村と足並みそろえ、3ワクチンとも、国の示した対象者に接種する方向で検討したい。詳細が示されていないため、実施をするとしても23年度からと考えている。

インターネットを利用したWeb図書館について

問 どこからでも24時間365日電子書籍を借り、パソコン等で読むことができる。また外出困難な高齢者、来館できない多忙な方でも気軽に利用できる。Web図書館の導入はどうか。

答 他市の公立図書館の状況を参考に、研究、検討していきたい。

新実祥悟(無党派)

第四次総合計画における公共交通の位置づけは

問 第四次総合計画に名鉄西尾・蒲郡線の存続問題をどう位置づけているか。

答 公共交通という項目で、必要性の位置づけがあり、案ではあるが、存続に

問 総合公共交通体系を確立する動きはあるのか。第四次総合計画の素案に、公共交通事業者、



名鉄電車(赤い電車)

市民及び関係者等で協議会を設置するとしている。ここで議論をしていくと思う。

小中学校統廃合の危険性について

問 行財政改革という中で学校統廃合は議論すべきではない。市の考えは。

答 経費の削減、費用対効果という理由からではなく、少子化に対応した教育環境づくりの一つとして検討する必要があるとしてきた。あくまでも教育が主眼、教育の充実と公平性の確保が主眼だと考えている。

大場康議(市政クラブ)

鳥獣被害における被害額等の正確な把握を

問 県に提出する鳥獣被害防止計画は、被害額等を正確に記載する必要がある。しかし、被害に遭っても報告をしない人がたくさんおり、実際の被害額と市が集計した被害額とはかなりかけ離れていると思う。どのように考えているか。

答 鳥獣被害防止計画は12月中旬に提出したいと考えている。提出までにまだ時間があるため、正確なものになるよう被害額等の収集を徹底させたい。



捕獲されたイノシシ

住宅リフォーム助成制度について

問 2カ月以内で終わってしまった。この制度は、確実に経済効果を上げ、市民も大変喜んでいて。制度延長を早急に進めては。

答 国からの地域活性化交付金といった補正予算とあわせ、今年度内で執行できる形で臨時会をお願いしたいと考えている。